

## 平成 26 年度 明石市地域自立支援協議会

## しごと部会 リポート Vol.1 2 平成 27 年 3 月 25 日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会事務局  
 (基幹相談支援センター) TEL：078-918-5252

【意見投稿用アドレス】 akashi\_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

今回のリポートは、ワーキング1（就労支援連絡会）の渡邊リーダー、ワーキング2（しごとを考えるケース検討会）の人見リーダー、ワーキング3（はたらくなかまのつどい）の田中リーダーが平成26年度の活動を振り返ります。

## ～ワーキング1 就労支援連絡会 一年を振り返って 渡邊 貴美～

ワーキング1（就労支援連絡会）は、就労支援に関する情報の共有と課題の抽出を主に7月・9月・11月・1月の計4回開催をしました。前年度までの連絡会の要素を継続し、会の前半は行政機関や学校・各事業所からの情報提供等を行い、後半は勉強会や課題検討を行うスタイルで進めてきました。

参加事業所数の多さゆえ、課題を検討するには内容が薄れ、まとまりに欠けてしまうというところは否めませんでした。しかし、その一方で参加事業所の多さは「今」の明石地域の就労支援にかかわる行政・教育・訓練事業所等の担当者の「顔合わせの場」としてとても有効な連絡会であることが改めて見えてきました。

平成27年度は、開催を年2回（前期・後期）とし、「各事業所との情報交換」「新しい情報の獲得」「顔合わせの場」として活動予定です。私自身も実際に支援をしている者として、これらの活動を通して意見交換を行い強固なネットワーク構築に繋げていきたいと思えます。



## ～ワーキング2 しごとを考えるケース検討会 一年を振り返って 人見 夏花～



ワーキング2（しごとを考えるケース検討会）は、ケース検討会を年2回行いました。2事例ともに問題解決までには至らなかったものの、事例の対象者と関わりのある事業所も多く、積極的な意見交換ができました。

振り返りでは、「小規模だからこそメンバー間での意見交換がし易かった」と意見が出された反面、「このワーキングの活動を知ったら今後は、参加を希望される事業所もあるのではないか」「検討会の回数を増やしたらどうか」「参加者の枠を広げたらどうか」など、次年度に向けての案も出されました。

平成27年度は、以上のことを踏まえ、参加人数を20人以下とし、参加条件や一定のルールを提示した上で、参加事業所を募ることとなりました。

最後にリーダーとしては、困難事例に対しての答えなど、簡単に解決できることではないですが、困難な気持ちをメンバー間で共有できたこと、さらにメンバーの意見が小さいながらも変化を起こすきっかけとなったことが、このワーキングを行って良かった点だと思っています。

## ～ワーキング3 はたらくなかまのつどい 一年を振り返って 田中 宏和～

ワーキング3（はたらくなかまのつどい）は、働いている障害のある方同志の交流の場として、11月にみんなでカレーを作り、「働くこと」について話し合いました。参加者からは、「参加して良かった。また参加したい」など喜びの声を聞くことができました。また、各事業所から多くの方がボランティアで参加していただいたこともあり、事故なく無事に終えることができました。

はたらくなかまのつどいを終えて感じたことは、参加された方の多くは、仕事だけではなく日常の過ごし方、楽しみ方に興味をもたれていたということです。

私たちが生きていくなかで、はたらくことと余暇活動は表裏一体の関係にあり、適切な余暇活動は仕事の疲れを癒し、更なる労働の意欲づけになると考えられます。一人一人がより良い生活を営む上では、はたらくことと余暇活動のどちらも大変重要なことであると気付かされました。

平成27年度も、『はたらくなかまのつどい』を続けることにより、参加された方が自ら、余暇を楽しむ力を身に付けながら、長く仕事を続けていただけるようお手伝いができれば良いと考えております。



次号 (Vol.1 3) も、引き続き、ワーキングの一年の振り返りを予定しています。

ワーキング4 (障害者就労支援者研修 馬場リーダー)・ワーキング5 (就労移行支援事業所ネットワーク会議 鳥居リーダー)